

キャラクター名
北斗 射義

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル エグザイル	ワークス	拳法家	カヴァー	傭兵
オプション		年齢	24	性別	男
覚醒	渴望	衝動	自傷	初期侵食率	33 %
出自	日本	経験	道場での辛い稽古	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4		0			4	行動値	6
感覚	2		0			2	(非装備時)	6
精神	0	1	1			2	戦闘移動	11
社会	2		1			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃	2		RC			交渉		
回避			知覚			意志			調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	4r+2		-5		
ショットガン(大型拳銃)	射撃	2r		5		
転電呼吸法(骨の剣)	白兵	4r+1	6	Lv+5		エフェクト・骨の剣発動で装備
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ヘルメット(強化服)	1	1		常備	

所持品	
ウェポンケース	
思い出の品(道場のたすき)	
【コネ】情報収集チーム	
【コネ】要人の貸し	

合計装甲: 1 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
	P 信頼	N 不信感		
北斗 頼応	P 憧憬	N 恐怖		
北斗 朱鷺	P 尊敬	N 不安		
北斗 健次郎	P 感服	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト・エグザイル	2	2	メジャー	至近	自身	自動		
効果: クリティカル値-Lv(下限値7)								
馬歩の構え(オールレンジ)	7	2	メジャー	武器	自身	対決		
効果: このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+Lv個する								
秘孔・穿腕孔(螺旋撃)	1	3	マイナー	至近	自身	自動	80↑	
効果: クリティカル値+1(シーン中にLv回まで使える)								
転電呼吸法(骨の剣)	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 武器を作成								
異形の歩み	★		常時	至近	自身	自動		
効果: 肉体を変化させ、あらゆる地形を踏破可能にする								
秘孔・新一(異能の指先)	★	3	メジャー	至近	単体	自動		
効果: 神経系に侵入して相手の記憶を読み取る、抵抗の意思がある場合は不可能								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【設定】
 とある拳法道場の中、三男である彼を含めた4兄弟は、他の修行者達と比べ正しく別格の強さを持っていた。
 その中でも、彼が実力を認める兄二人は、いずれはどちらかが道場を継ぐだろうと思っていた。
 しかし継いだのは、他ならない一番下の弟であった。
 彼はそれが納得できなかった。
 自分が継ぐ者では無いのは納得出来た、彼自身、稽古を怠けた事は無かったが、それでも才能の差を他の兄弟に感じていたからだ。
 しかし弟だけはあり得ない、控えめにみても実力はせいぜい自分と同じか少し上、余程ではないが兄二人を差し置きその立場に立つ事は彼にとっては考えられなかった。
 真っ先に彼は兄二人に訴える、このまま弟が継ぐより、二人のどちらかが道場を継ぐべきだと。
 しかし兄達は何も言わず、行動に移す様子もない。
 「腑抜けたか！兄者達は！」
 尊敬する兄に、彼は心からの怒りを示した。